活き活き　はつらつ　五小っ子！

五小だより

http://5s.hyama.andteacher.jp

平成２７年１０月１日
№. 7
東大和市立第五小学校
ＴＥＬ(042)562-1981
ＦＡＸ(042)590-7022

食の大切さ

校長　髙野　滋

今日から 10 月。第五小学校では 9 日（金）に全校遠足として都立狭山公園に出かけます。また、17 日（土）には北多摩西部消防署東大和出張所の皆様と日本赤十字社東京支部の方々のご協力をいただき、防災学習の土曜授業を行います。全校遠足は学年を超えてなかよし班を作り、6 年生が 1 年生、5 年生が 2 年生の面倒を見るなど、異学年交流の絶好の場となります。また、防災学習は従前地域防災訓練として行われていたものを、全校児童対象に講話や簡易担架作成等の体験を中心とした授業として実施します。初めての試みで課題も出ると思いますが、小学生なりの防災意識の高揚をねらいとして行います。ぜひ保護者、地域の皆様の参観をお待ちします。

さて、本校の取組として皆様にご紹介したいことがあります。それは給食の残菜率です。毎月、東大和市学校給食センターから給食の残菜率の報告が送付されます。手前味噌ながら、第五小学校の残菜率は他校と比べて少ない月が多く、ほぼ毎月のようにセンター内 8 校で一番少ないです。7，8 月はついに、残菜率が一けたに減っていきました。給食委員会の残さず食べよう大作戦を始めとした全校をあげての取組や各学級での取組が奏功しており、残さず食べるという児童の意識もできてきていると思います。当然、嫌いな食材を避けて残す児童もいますが、全体的には残さず食べようという意識や各学級の取組が定着しているわけです。

本校は東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校として日本の伝統文化の理解を進めています。その点からも、日本の伝統文化の一つといえる、この食文化を児童にしっかりと教えていきたいものです。残すことが「もったいない」こと、「いただきます」は自分の命のために動植物の命をいただくこと、「ご馳走様」は「馳」「走」はともにはしる意味で、昔は走り回って獲物を捕りもてなしたことから、命がけの働きに感謝すること。これら食べ物を大切にすることを「いただきます」「ごちそうさま」という日本独特の表現で表しています。それを踏まえて、毎日の食事に感謝する心をこれからも教え、育てていきたいと思います。そして、毎日午前中の授業に集中して取り組み、頭と体を動かすからこそ、おなかが空き、給食もいっぱい食べる五小をこれからも目指していきます。

※ 10 月 16 日世界食糧デーのことが本校ほけんだより 10 月号に掲載されています。そちらもぜひお読みください。